

## 令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

高知県

行事名称	朝倉神社消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和8年1月27日（火）14：00～14：30
実施場所	朝倉神社（高知市朝倉丙2100番地イ）
主催者	朝倉神社、高知市中央消防署西出張所

## ■実施内容

## 訓練の想定

朝倉神社境内にある山林から何らかの原因で出火し、北からの風により重要文化財朝倉神社本殿に延焼の恐れがある想定。直近の消火栓は数百メートル離れているため、神社敷地周囲の自然水利から取水する想定で実施。

## 訓練の内容

朝倉神社職員が火災を発見し、社務所へ報告及び通報。駆け付けた地元民が屋外消火栓を操作し消火にあたり、消防署、消防団の放水を併せて行う。参拝客の避難誘導は社務所の職員が実施。

## 参加者及び役割分担

朝倉神社職員（2名）通報、避難誘導を実施  
 朝倉分団（4名）自然水利取水、タンク車への送水、放水  
 地元住民（6名）屋外消火栓での放水  
 高知市中央消防署西出張所（4名）全体統括、講評、放水

## 特に工夫した点

消火栓が遠方で使用できない想定で自然水利取水を選択するが、水量が少ないため圧力を調整しながら送水を実施したこと。また、筒先員2名（各1線延長）も意思疎通を図り、火勢が弱い方が放水量を減らすなどした。

## 問題点・課題

放水量に対し取水が少ない場合、機関員、筒先員らが意思疎通を取らないと水が枯渇し共倒れになる可能性がある。特に筒先員は放水できないと身の危険があるため、全体を俯瞰して評価できる者の育成や署所と分団の意思疎通を図るために訓練等を重ねていくべきだと感じた。

## その他

文化財防火デーが防災意識高揚のひとつのきっかけであるのは間違いないが、年1回では少ないので地域の防災イベント、地区の訓練等へ積極的に参加し、消防署所・消防団・地域住民の繋がりを強化していきたい。

## 訓練風景

